

第 15 回家畜感染症学会学術集会

テ ー マ：家畜感染症診断における POCT の活用と展望

日 時：2025 年 12 月 6 日（土）13：00-17：30、12 月 7 日（日）9：00-17：00

会 場：東京大学農学部 1 号館第 8 講義室（〒113-0032 東京都文京区弥生 1 丁目 1-1）

開催方法：対面ならびに Web（Zoom）開催のハイブリッド形式

大 会 長：猪熊 壽（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

参 加 費：正会員・賛助会員：5,000 円、非会員：7,000 円、学生：無料

事前登録：学会 HP（<http://www.kachikukansen.org/>）より受付中

内 容：

【12 月 6 日（土）】

● 基調講演：

- ・ CRISPR-Cas3 を用いた感染症迅速診断技術の開発

真下 知士（東京大学医科学研究所）

● 推奨研究：

- 1) ポータブルリアルタイム PCR 装置を用いた家畜感染症の病原体迅速診断と現場での応用について

増田 恒幸（岡山理科大）

- 2) 乳房炎の迅速診断技術について

鈴木 直樹（広島大学）、上利 尚大（カーブジェン株式会社）

- 3) 感染症診断に資する近年の POCT 技術と家畜感染症診断への応用可能性

三浦 大明（東京農工大学）

- 4) 総合討論

● 意見交換会：Bar Abreuvor（東京大学農学部弥生キャンパス内 向ヶ岡ファカルティハウス 2F）

<http://www.mukougaoka-facultyhouse.jp/bar.html>

【12 月 7 日（日）】

● 第 14 回最優秀賞受賞者講演

- ・ 黄色ブドウ球菌死菌の鼻腔と皮下接種で特異抗体を誘導した乳牛の乳房炎防除能の評価

津上 優作（農研機構 動物衛生研究部門）

● 一般口演（10 題程度募集）

● ランチョンセミナー

● 子牛の下痢症に関する全国アンケートシンポジウム

- 1) 子牛の下痢症に関する全国アンケート報告

大川 洋明（株式会社 Guardian、家畜感染症学会事務局）

- 2) ヒトにおける腸管感染症診療の実際と抗菌薬適正使用の推進について

樽本 憲人（埼玉医科大学）

- 3) 豚の推定診断における臨床検査の役割と抗菌剤効果の再現性－細菌性腸管感染症を例に－

遠矢 良平（NOSAI 宮崎）

- 4) 母牛の微量元素と子牛の疾病予防

川口 正人（北海道農業共済組合）

- 5) 総合討論

● 学会活動報告

● 最優秀賞、大会長賞、奨励賞、表彰式